

信州大学医学部附属病院 整形外科に通院中または  
過去に整形外科病棟に入院された患者さんまたはご家族の方へ  
西 8 階病棟における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024 年 7 月 8 日

**「整形外科疾患患者における弾性ストッキング・弾性包帯による医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)発生予防の評価」に関する臨床研究を実施しております。**

信州大学医学部生命科学・医学系研究倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6217
研究課題名	整形外科疾患患者における弾性ストッキング・弾性包帯による医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)発生予防の評価
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 看護部
研究責任者(職名)	西 8 階病棟 阿部史子(看護師)
研究実施期間	医学部長による許可日～2025 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	弾性ストッキング・弾性包帯による医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)とは、弾性ストッキング・弾性包帯を装着することにより、足に皮膚トラブル(傷や皮膚の赤み、痛み等)が生じた状態のことです。この研究は弾性ストッキング・弾性包帯による医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)発生予防の取り組みを評価することを目的とした研究で、今後の発生減少に貢献できると考えられます。
研究の対象となる方	2022 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の期間に整形外科病棟(東 3 階、西 4 階または西 8 階病棟)に入院された方のうち、弾性ストッキング・弾性包帯による医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)が発生した方
利用する診療記録	年齢、性別、病名、治療、安静制限の有無と期間、日常生活で必要な移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容などの動作、弾性ストッキング弾性包帯装着から発症までの期間・発生部位、浮腫の有無、栄養状態など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)と各種診療記録との関係性の有無について検討します
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます
問い合わせ先	氏名(所属・職名):阿部史子(西 8 階病棟・看護師) 電話:0263-37-2777

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。2024 年 8 月 9 日までであれば、いつでもお断りいただけます。期限を過ぎてのお申し出は、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。